



バードライフファーム

オーナー	バードライフ・インターナショナル東京
水田面積	27.20アール (約823坪)
保証量	玄米1224kg
形態・品種	特別栽培コシヒカリ
ブランド	米風土「海」
Co2回収	約2720kg

生産者



8月の最初の頃は天気が良く、生育も順調でしたが5日過ぎから後半、梅雨に逆戻りしたような長雨が続き出穂後の生育が遅れました。9月の天候に期待していますが、刈り取りは10日前後遅れ、9月15日以降になりそうです。水田の排水対策に努め、あせらずにしっかり登熟してから刈り取り、おいしいお米に仕上げたいと思っています。

エコファームHOSOYA

8月の作業内容

1. カメムシ防除

カメムシは高温の年に発生が目立ち、実害としては出穂後イネの穂を吸汁します。その結果、精米すると米粒の一部が黒く変色し、お米の等級にも影響を及ぼすため防除を行ないます。



カメムシ防除

2. 機械点検

9月はいよいよ稲刈りの時期になるため、コンバインをはじめとする穀物乾燥機・糶摺り機、色彩選別機など、あらゆる機械の点検をしっかりと行ないます。



機械点検

※稲の開花と受粉はとても貴重

出穂が始まるとその日のうちに開花が行われ、受粉は開花の瞬間に行われる自家受粉です。その時間はわずか数時間。受粉完了後は花を閉じ、再び開くことはありません。あつという間の出来事です。



稲の開花

※8月の稲生育状況

お米の粒がはっきりとわかる状態まで育ってきましたが、まだまだ薄く中身も液状です。8月中は稲に沢山水分を吸ってもらい、お米の粒を太らせていきます。そして稲穂が重たくなってくると垂れてきます。



8月の稲生育状況